



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年12月6日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の業績(平成29年2月1日～平成29年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	2,704	0.5	181	△5.2	181	△5.0	115	△5.6
29年1月期第3四半期	2,689	4.9	191	19.4	191	17.5	122	28.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	41.45	—
29年1月期第3四半期	43.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第3四半期	4,782	1,921	40.2
29年1月期	4,861	1,834	37.7

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 1,921百万円 29年1月期 1,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年1月期	—	0.00	—		
30年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,570	0.8	200	8.5	200	7.2	120	16.2	43.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年1月期3Q	2,821,000株	29年1月期	2,821,000株
30年1月期3Q	31,925株	29年1月期	31,590株
30年1月期3Q	2,789,173株	29年1月期3Q	2,789,678株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢や所得環境の改善が進み、株高が進行するなど緩やかな回復基調のうちに推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図り、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、映画では、“美女と野獣” “怪盗グルーのミニオン大脱走” “名探偵コナン” “モアナと伝説の海” “銀魂” “S I N G / シング” “君の瞳臓をたべたい” “パイレーツ・オブ・カリビアン” “ラ・ラ・ランド” “ドラえもん” などの話題作品を上映して観客誘致に努めました。また、本年3月に新スクリーン「プラスワン」をオープンし、スクリーン2・3の座席をリニューアルするなど設備面での改善を進めるとともに、映画会員制度「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得に努めるなど積極的な広告宣伝活動や販売促進活動を展開した結果、娯楽場部門を含めたこの部門全体の収入合計は、1,359,065千円（前年同期比1.0%増）となり、営業原価控除後では71,212千円のセグメント利益（前年同期比2.4%減）となりました。

不動産事業部門におきましては、アポロビルにおいて、2階及び3階共用部照明器具のLED化工事、低層階雑排水管更新工事等を実施するなど、より快適で安全なビルづくりを推進しました。ルシアスビルにおいても、本年1月に新設した15階の眺望のよい屋内ステージ「あべのAステージ・スカイコート」、リニューアルした1階正面広場の「あべのAステージ」の運営をそれぞれ本格的に開始しました。また、劇場事業と連携した誘客活動を進めるとともに、賃貸収入の確保に向けて、ビル入居率の維持・向上を図るため、空室部分への後継テナント誘致に注力いたしました結果、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めたこのセグメント全体の収入合計は、1,345,672千円（前年同期比0.1%増）となり、セグメント利益につきましても、328,599千円（前年同期比2.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、2,704,737千円（前年同期比0.5%増）となり、費用の面におきましても全社において諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は181,396千円（前年同期比5.2%減）となり、経常利益は181,999千円（前年同期比5.0%減）、四半期純利益は115,619千円（前年同期比5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、固定資産の減価償却等により前期末に比較して78,931千円減少し、4,782,531千円となりました。

負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して165,724千円減少し、2,861,407千円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したため、前期末に比較して86,792千円増加し、1,921,124千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月期の業績予想につきましては、平成29年9月6日に「平成30年1月期第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,999	66,632
売掛金	100,540	88,468
商品	4,872	3,828
短期貸付金	339,915	485,782
その他	154,683	60,241
流動資産合計	668,010	704,954
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,074,005	1,925,048
機械及び装置(純額)	40,901	42,271
工具、器具及び備品(純額)	73,759	67,332
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	-	30,000
有形固定資産合計	3,312,414	3,188,400
無形固定資産	17,211	13,053
投資その他の資産		
差入保証金	822,714	822,343
その他	41,112	53,779
投資その他の資産合計	863,827	876,123
固定資産合計	4,193,452	4,077,577
資産合計	4,861,463	4,782,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,550	99,351
短期借入金	257,500	280,000
未払法人税等	41,644	43,172
賞与引当金	12,000	32,900
その他	627,341	432,270
流動負債合計	1,057,036	887,694
固定負債		
退職給付引当金	85,399	91,024
受入保証金	1,560,957	1,559,916
資産除去債務	286,912	290,194
その他	36,827	32,577
固定負債合計	1,970,095	1,973,712
負債合計	3,027,131	2,861,407

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,350,834	1,438,559
自己株式	△108,166	△109,215
株主資本合計	1,831,023	1,917,699
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,308	3,424
評価・換算差額等合計	3,308	3,424
純資産合計	1,834,331	1,921,124
負債純資産合計	4,861,463	4,782,531

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	2,689,998	2,704,737
営業原価	2,297,790	2,304,926
営業総利益	392,207	399,811
一般管理費	200,769	218,415
営業利益	191,438	181,396
営業外収益		
受取利息	785	914
受取配当金	103	127
保険差益	2,357	96
違約金収入	-	866
雑収入	236	132
営業外収益合計	3,482	2,137
営業外費用		
支払利息	1,884	1,523
固定資産圧縮損	1,408	-
雑支出	5	11
営業外費用合計	3,299	1,534
経常利益	191,621	181,999
特別損失		
固定資産除却損	8,735	13,050
特別損失合計	8,735	13,050
税引前四半期純利益	182,886	168,948
法人税、住民税及び事業税	84,295	74,048
法人税等調整額	△23,901	△20,719
法人税等合計	60,394	53,329
四半期純利益	122,491	115,619

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(平成28年2月1日から平成28年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,345,161	1,344,837	2,689,998	—	2,689,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,345,161	1,344,837	2,689,998	—	2,689,998
セグメント利益	72,984	319,223	392,207	△200,769	191,438

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(平成29年2月1日から平成29年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,359,065	1,345,672	2,704,737	—	2,704,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,359,065	1,345,672	2,704,737	—	2,704,737
セグメント利益	71,212	328,599	399,811	△218,415	181,396

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。